

【4】木風地区を支える団体

◎木風小学校区 11ヶ町連絡協議会

木風・藤原・稲荷地区内には11の町内組織があり、通称「11ヶ町」と呼ばれ仲間意識の強い町内です。

会長会では、諸問題が議論され取り決められます。その一つがスポーツ大会です。毎年の当番町には、競技種目の決定や当日の運営が一任され、お世話役の方は、選手集めから競技進行まで苦労が多いようです。

しかし、当日はどの町も、我が町の順位を少しでも上げようと一体となって応援し、町民意識を高めます。近年は、輪投げ、ゲートボールが主流でしたが、平成19年度はグランドゴルフ大会でした。平成20年度の競技種目は何でしょうか？



◎民生委員児童委員協議会

あなたは民生委員児童委員が誰か、そして何をしているか知っていますか？

藤原町4名、木風町3名、稲荷町5名、それに主任児童委員2名の計14名が木風地区にいます。

ひとり暮らしの高齢者、障がい者、子育ての支援などを中心に活動しています。

特に、子育て育児支援サークル「木風っ子」は、就学前の親子の支援活動を7年間続け、現在に至っています。



◎木風校区老人クラブ連合会

稲荷町4クラブ、藤原町3クラブ、木風町2クラブの計9クラブからなり、相互支援体制を強化し、佐世保市中央1区として活動しています。

福祉の増進、明るく安全な地域社会づくりのため、児童の登下校の見守り活動、高齢者の交通事故防止、その他の安全奉仕作業の実践などに取り組んでいます。



◎木風小学校PTA

木風小学校PTAは、会員数223名(平成19年度)の団体です。

学校との連携のもと、親子スポーツ大会、ベルマーク収集、PTA新聞の発行、PTAコーラスへの参加、各学年での活動などを行っています。

なかでも、登下校の見守り運動や、のびのび木風ふれあい広場には、たくさんの地域の方々にご参加いただきながら活動しています。



◎消防団 第11分団

私たち消防団の目的は、国民の生命と財産を守り、水害・火災の防止に努め被害を軽減することです。その為に、消防団員として消防機械の把握など、日々訓練等に精進し、横の連携を密にして頑張っております。

安心で安全な町内づくりのためには、消防に携わる者のみではなく、地域一体となって防災意識を高める必要があります。



●藤原地区防犯パトロール隊

平成19年度現在、隊長を含め計4名で活動しています。

車には、長崎県警察本部長の許可を受けて青色回転灯を付け、毎週金曜日の午後8時から2時間程度、木風・藤原地区を重点に、巡回パトロールを行っています。

また、警察少年補導員としても、月3回徒歩で巡回し、少年の非行防止に勤めています。



【5】木風地区福祉対策推進協議会の紹介

どのような団体？

福祉対策推進協議会（略称：福対協）は、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めるという役割を担った組織です。

木風地区福対協は、昭和53年に設立され、各団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

どのような人たちがメンバー？

民生委員児童委員、公民館、老人クラブ、婦人部、小・中学校など、幅広いメンバーで構成されています。

主な活動は？

福対協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主な活動を紹介します。

ふれあいネットワーク

ひとり暮らしの高齢者などが、地域で安心して生活できるように、隣近所の方をはじめとした地域住民が中心となり、安否確認や話し相手などのために定期的に訪問しています。

また、支援者による情報交換や交流会を行い、より充実した活動に取り組んでいます。

食事サービスボランティア

木風地区には、「もみじ会（木風町2組）」「稲荷町4組食事サービス」という2つのグループがあります。

地域にお住まいの、ひとり暮らしの高齢者などを対象に、20年以上にわたり食事サービスを行っています。



その他にも、登下校時の見守りボランティアや、通学合宿などにも積極的に協力し、地域福祉の推進に努めています。

これからも、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことでさらに充実した活動につながるのではないのでしょうか。

地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。